

厚い ↔ うすい

意味

表と裏など、もの二つの面から反対の面までのへたたりが大きい。

使い方

▼辞典のコーナーには、片手では持てないほど厚い本が並ぶ。
▼氷が厚く張っている。
▼コートは厚い生地で作られている。

意味

表と裏など、もの二つの面から反対の面までのへたたりが小さい。

使い方

▼向こう側がすけて見えそうなくすい紙。
▼りんこの皮をうすくむく。
▼春なので、うすい布で作ったスカートをはく。

「うすい」は「厚い」が「うすい」など「程度(二)定の面積や体積の中にもものがつまっている程度」が低い「場合にも使う」。



目的に合わせて使い分けよう。

暑い ↔ 寒い

意味

気温や、いる所の温度がとて高き。

使い方

▼今年の夏は、去年に比べてはるかに暑い。
▼この部屋は暑過ぎるが寒いので、暑くてたまらないう。
▼まだ六月というのに、今日は真夏のまじりに暑かった。
▼教室の中の机のあたりは暑かた。

意味

気温や、いる所の温度がとて低い。

使い方

▼週末まで寒い日が続いている。
▼ドアが開け放されているので、寒くて仕方がない。
▼もう四月というのに、今日は真冬並みに寒い。
▼足もとが寒いので、スカートからスパコンにはきかえる。

「暑」は「寒」からた全体の感覚を表すときに使う。



温度差がありすぎるのも考えもの。